

<2013 年度事業報告>

I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2013 年度（2013 年 3 月 1 日～2014 年 2 月 28 日）は下記を実施した。

(1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第 4 条 1 号）

時 期	場 所	名 称	内 容	参加者数	演題数
2013/4/12	三菱重工横浜ビル	特別講演会	「メタン水素燃料としての特徴と開発に向けての展望」	60 名	1
2013/6/21	(株)JAL エンジニアリング、エンジン整備センター、成田航空機整備センター	第 1 回見学会	設備見学	36 名	—
2013/7/4-5	(独)宇宙航空研究開発機構	第 23 回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義および施設見学)	70 名	7
2013/10/15	琉球大学工学部	ガスタービン市民フォーラム	「ガスタービンを使って効率よく発電—コンバインドサイクルって何？」	68 名	1
2013/10/16-18	沖縄産業支援センター	第 41 回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(150 部)	143 名	77
2013/11/8	(株)日立製作所 電力システム社日立事業所	第 2 回見学会・技術懇談会	設備見学・講演	26 名	1
2014/1/23-24	東京大学 浅野キャンパス 武田ホール	第 42 回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの最新技術と保守技術の動向」, セミナー資料集発行(170 部)	144 名	10

(2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第 4 条 2 号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2013/3/20, 5/20, 7/20, 9/20, 11/20, 2014/1/20	2,370
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2013/12, 2014/2	Web 掲載
「ガスタービン工学」	2013/8/31	1000 部（発行）

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第 4 条 3 号）

2013 年度に継続して共催・協賛した行事は 45 件であり、新規のものは下記の 4 件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2013/11/18	第 26 回翼列研究会	宇宙航空研究開発機構 調布本社講堂	翼列研究会
協賛	2013/11/20-22	The 2013 Asia-Pacific International Symposium on Aerospace technology	サンポートホール高松	日本航空宇宙学会

		(APISAT-2013)		
協賛	2013/12/18-20	第 22 回微粒化シンポジウム& The 16th Annual Conference of ILASS-Asia	長崎大学坂本地区キャンパス 1 良順会館	日本液体微粒化学会
協賛	2014/02/06-07	1DCAE 概念に基づくものづくり設計教育：第二弾（基礎・応用・実習・事例～原理・原則に基づく 1DCAE 設計）	日本機械学会会議室	日本機械学会

(4) ガスタービンに関する研究、調査（定款第4条4号）

名称	実施期間	調査内容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2014年版）」の資料収集	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。
ガスタービンを考える会	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、その実現方策の検討などを行った。
調査研究委員会	2013年度	産業用ガスタービン研究開発プロジェクト案をまとめた。
産官学連携委員会	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携実現の方策を検討した。また、ガスタービンを考える会のプロジェクト案を実現させるプロセスを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

ガスタービンに関連した研究及び技術開発を奨励するため、2年に一度、優れた研究、技術に対して、ガスタービン学会賞（論文賞、技術賞、奨励賞）を授与している。2013年度は、学会賞審査の年度にあたるため、学会賞審査委員会において、学会賞の審査を行なった。その結果論文賞2件、技術賞2件、奨励賞1件を選出した。2013年度通常総会において学会賞の授与を行う。また、若手人材育成のため、第41回日本ガスタービン学会定期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成を実施するとともに、優れた研究発表を行った学生を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。

II. 運営組織の概要

1. 役員・会員・職員

(1) 役員（理事、監事）

2014年2月28日現在

役名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所属
会長 代表理事	坂田 公夫	非常勤	2012/4/20	なし	業務の総括	(独)宇宙航空研究開発機構
副会長 代表理事	藤谷 康男	非常勤	2013/4/12	なし	業務の総括	三菱日立 ^パ ワーステムズ ^ス (株)
執行理事	太田 有	非常勤	2012/4/20	なし	法人管理 総務	早稲田大学
執行理事	正田 淳一郎	非常勤	2013/4/12	なし	法人管理 企画	三菱日立 ^パ ワーステムズ ^ス (株)
執行理事	山脇 栄道	非常勤	2012/4/20	なし	法人管理 財務	(株) I H I
執行理事	幡宮 重雄	非常勤	2013/4/12	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	(株)日立製作所
執行理事	山根 敬	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 集会行事	(独)宇宙航空研究開発機構

執行理事	辻田 星歩	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 集会行事	法政大学
執行理事	岡崎 正和	非常勤	2013/4/12	なし	公1(1) 技術普及	長岡技術科学大学
執行理事	畔津 昭彦	非常勤	2012/4/20	なし	公1(1) 国際会議	東海大学
執行理事	村田 章	非常勤	2012/4/20	なし	公1(2) 広報	東京農工大学
執行理事	武 浩司	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2) 調査	川崎重工業(株)
執行理事	田沼 唯士	非常勤	2012/4/20	なし	公1(2) 学会誌	帝京大学
執行理事	寺本 進	非常勤	2012/4/20	なし	公1(2) 論文	東京大学
執行理事	春海 一佳	非常勤	2013/4/12	なし	公1(3) 表彰 公1(1) 学術講演会	(独)海上技術安全研究所
理 事	古谷 博秀	非常勤	2012/4/20	なし	公1(1)	(独)産業技術総合研究所
理 事	桂田 健	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2)	日本航空(株)
理 事	新関 良樹	非常勤	2012/4/20	なし	公1(2)	(株)東芝
理 事	高西 一光	非常勤	2012/4/20	なし	公1(2)	関西電力(株)
理 事	渡辺 和徳	非常勤	2013/4/12	なし	公1(2)	(一財)電力中央研究所
監 事	塚越 敬三	非常勤	2013/4/12	なし	業務監査	三菱日立パワーシステムズ(株)
監 事	藤網 義行	非常勤	2013/4/12	なし	業務監査	東京農工大学

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2014年2月28日現在	昨年度末 2013年2月28日現在	
正 会 員	2 0 5 7 名	1 9 6 8 名	8 9 名
学生会員	8 2 名	8 8 名	△ 6 名
名誉会員	5 0 名	5 3 名	△ 3 名
終身会員	3 4 名	3 3 名	1 名
賛助会員	1 0 2 社 (1 3 7 口)	1 0 1 社 (1 3 7 口)	1 社 (0 口)

(3) 職員

2014年2月28日現在

職 務	氏 名	就任年月日	担 当 事 務	備 考
事務局員	平岡 克英	2011年3月1日(嘱託)	事務局の総括	事務局長

4) 委員会構成案の件	全会一致で承認
5) 名誉会員・終身会員候補者の件	全会一致で承認
6) 学会賞審査結果について	全会一致で承認
7) 2014 年度事業計画 (案)	全会一致で承認
8) 2014 年度収支予算 (案)	全会一致で承認
9) 規程類改定案	全会一致で承認
10) 調査研究委員会の設置について	全会一致で承認
11) 学会紹介英文パンフレットについて	全会一致で承認
12) 事務局長 (囑託) 契約更新について	全会一致で承認
13) 次年度役員・委員長候補者の件	了承
14) 国際委員会報告	了承
15) 集會行事委員会報告	了承
16) 技術普及委員会報告	了承
17) 学会誌編集委員会報告	了承
18) 事務局常勤職員辞令	了承
19) 役員就任承諾書書式	了承
20) 2013 年度第 7 回理事会議事録	全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2013/4/12	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2012 年度通常総会 第 1 号議案: 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案: 理事選任の件 第 3 号議案: 監事選任の件 第 4 号議案: 名誉会員候補者の件 第 5 号議案: 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 幡宮 重雄 他 5 名 開催 1 回

倫理規定に関する事項を担当した。

(2) 自己点検委員会

委員長 幡宮 重雄 他 5 名 開催 1 回

自己点検委員会運営要領を制定し、学会実施事業のチェックリスト案を作成した。

(3) 運営委員会

委員長 太田 有 他 11 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) アドバイザリー委員会

委員 4 4 名 開催 1 回

2012 年度事業報告、2013 年度事業計画、ガスタービン技術ロードマップおよびプロジェクト提案の検討状況、教科書編纂・技術普及活動内容の概要説明を受け、議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 正田 淳一郎 他 5 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 1 回)

引き続き規程類の整備に努めるとともに、内部管理体制について検討し、倫理規定委員会と自己点検

委員会の設置形態、活動内容、構成を具体的に決め、これらの委員会の設置について運営委員会、理事会に諮り承認された。また、学会特集記事の選定方法案につき取り纏め、運営委員会、理事会に諮り承認された。

(6) 国際委員会

委員長 中村 良也 他 1 2 名 開催 4 回

サンアントニオで6月に開催された ASME Turbo Expo 2013 の会期中に IAC 会議を開催した。また ACGT 2014 に向けた関係者会議が6月にソウルで開かれ参加、共催団体として支援すべく日本側実行委員会を組織した。デュッセルドルフで開催予定の ASME Turbo Expo 2014 に GTSJ として出展を企画、理事会の承認を受け、展示内容の計画や配布物等の準備を進めた。このうち学会紹介英文パンフレットについては作成を完了、配布に供する。また英文ホームページのコンテンツの更新整備を進めた。

(7) 学術講演会委員会

委員長 山本 武 他 1 2 名 開催 3 回

第 41 回日本ガスタービン学会定期講演会を那覇市沖縄産業支援センターで開催し、見学会（沖縄電力(株)吉の浦火力発電所、海水淡水化センター等）を実施した。また、市民フォーラムを琉球大学工学部にて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 山根 敬 他 1 7 名 開催 6 回

若手技術者、研究者を対象に2日間の第23回教育シンポジウム(JAXA 調布航空宇宙センター)、見学会として(株)JAL エンジニアリング(エンジン整備センター、成田航空機整備センター)並びに(株)日立製作所(電力システム社日立事業所、他)の半日の見学会を各1回(いずれも会員以外の一般参加も受付)、東京大学浅野キャンパス武田ホールにおいて「ガスタービンの最新技術と保守技術の動向」に関する第42回ガスタービンセミナー(2日間)等の企画・実施を担当した。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 岡崎 正和 他 1 3 名 開催 3 回 (内 E-mail 会議 1 回)

ガスタービンに関連する教科書「ガスタービン工学」を刊行した。この普及活動を増進する活動の一環として、全国の大学図書館向けに教科書の発刊を知らせる広報ビラを作成し、郵送した。さらに、他の学会誌の書評欄などに教科書の概要を掲載する、中高大学生向け出前授業を行うなど、継続的に普及活動を行うためのアクションプランをたてた。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 田沼 唯士 他 2 4 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項(特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等)を担当した。特集として、2013年3月「圧縮機・過給機の最新技術動向」、2013年5月「ポンプとガスタービン」、2013年7月「ガスタービン発電設備の経年化対策(点検・補修・改善技術)」、2013年9月「ガスタービンと可視化技術/最新の可視化技術はどのように使えるか」、2013年11月「中低温熱回収タービン開発の現状」、2014年1月「特集①ガスタービンに関する標準規格、特集②第41回定期講演会(那覇)報告」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 船崎 健一 他 1 3 名 開催 6 回 (内 E-mail 会議 2 回)

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 武 浩司 他 1 0 名 開催 4 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2012年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 41 No. 4 に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他15名 開催4回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。ガスタービンを考える会で作成している研究開発プロジェクト案を実現させる方策について審議・助言を行い、新たな調査研究委員会の設置を提案した。

(14) 広報委員会

委員長 村田 章 他7名 開催4回(内E-mail会議4回)

学会ホームページの充実を図るために、学会誌バックナンバーのPDFファイル容量制限を緩和し、図の解像度の改善を行った。また、学会ホームページ掲載内容を適宜追加・修正した。さらに情報システム化推進委員会と一体となり、学会各委員会で使えるファイル共有サーバーの検討・導入を行った。また、学会ホームページからオンライン決済を行うシステムの検討を行った。

(15) 表彰委員会

委員長 藤谷 康男 他6名 開催7回(内E-mail会議6回)

本年度は学会賞審査の年度にあたるため、学会賞候補者を公募した。審査については、学会賞審査委員会を構成し、審査および候補者の選出を委嘱した。また、学術講演会委員会と協力して、定期講演会で講演発表する学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。加えて表彰事業に関する規程(学会賞規程)に関する見直しを行った。

(16) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 藤谷 康男 他4名 開催2回

平成26年度に交代する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(17) 名誉会員選考委員会

委員長 坂田 公夫 他6名 開催1回

規程に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 終身会員候補者選考委員会

委員長 坂田 公夫 他4名 開催1回

規程に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(19) 学会賞審査委員会

委員長 筒井 康賢 他10名 開催2回

本年度は、学会賞審査の年度にあたる。2014年1月22日に開催された第2回委員会において、学会賞の審査を実施し(技術賞のヒアリングを含む)、論文賞2件、技術賞2件、奨励賞1件の候補を選出した。

(20) 2015年国際ガスタービン会議準備委員会

委員長 渡辺 紀徳 他7名 開催6回

国際ガスタービン会議IGTC2015の開催準備を行い、会期、会場、準備スケジュール等の決定、会場の使用契約締結などを実施した。2013年10月に実行委員会を立ち上げ、業務を引き継いだ。

(21) 2015年国際ガスタービン会議実行委員会

委員長 渡辺 紀徳 他11名 開催2回

準備委員会の業務を引き継ぎ、IGTC2015の開催準備を進めた。

(22) 情報システム化推進委員会

委員長 村田 章 他 7 名 開催 4 回 (内 E-mail 会議 4 回)

学会各委員会で使えるファイル共有サーバーの検討・導入を行った。また、学会ホームページからオンライン決済を行うシステムの検討を行った。

(23) 産業用ガスタービン研究開発プロジェクト調査研究委員会

委員長 壹岐 典彦 他 7 名 開催 2 回

産官学連携委員会およびガスタービンを考える会と連携しながら、メール審議を併用して産業用ガスタービンの研究開発プロジェクト立案に向けて調査・検討を行った。その成果として、2030 年の発電設備について負荷変動追従性を高めるために必要となる基盤技術や解決すべき課題について調査し、負荷変動対応型先進発電設備の技術開発を検討する「負荷変動対応型先進発電設備に関する技術可能性調査」の提案をまとめて事業を終了した。